

2022
1・24 月4回
月曜日発行
第1230号

週刊ビル経営

発行所 株式会社ビル経営研究所
〒104-0061
東京都中央区銀座7-17-12 2F
TEL 03(3543)7421
FAX 03(3543)5839
発行人 垂澤清三
年間購読料 30,000円(税込)
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS
亀岡大郎取材班グループ

ソコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所
代表取締役 出村 亜希子
奈良女子大学大学院修了後CM
会社を経て現職。一級建築士、
宅建士。「倉庫ドクター」とし
て建築面からオーナー支援に取
り組む。

「I-MIN 大規模物流施設では、
グ、ロゴ デザイン 従業員のための休憩ス
ペースや託児所、パウ
ダールームなどが欠か
がけまし せません。特に人手不
足の昨今、その充実度
によって従業員募集の
成否が分かれるという
NK」の もつなげます。機
能もさることながら、
トは「創 最近建築家によるオ
造連鎖す シャレなデザインの施
る物流プ 設も増えてきました。
ラットフ 物流施設は今や、働ぎ
オーム」。 手を集めるために魅力
的な空間を競うようにな
なっているのです。」

先日、渋谷bunk 施設そのものをメデイ
amuraで開催され ア化し、高レベルの物
品を顧客や消費者
「ザ・フィンラ 流品質を顧客や消費者
ンドデザイン展」を見 に広く発信。また施設
てきました。フィンラ に入居する企業とベン
ンドは「存知のお チャーなどの交流を促
り、デザイン先 すと場を設け、新たな
進国です。その ビジネス機会が次々
多くがフィンラ と生まれるクリエイ
ンドの豊かな自 ティブなコミュニティ
然からインスピ を創出します。さいた ユーザビリティ
レーションを受 ーに施設を地域に開
けているのもよ の高いデザインを欠
く知られている き、親しまれる存在
ところでは。自 として受け入れられ
然は、究極のア るような施策も展
ートを内包して 開。入居企業のCS
います。そんな Rや人材雇用にも貢
アートの力が、 献するとしています。
物流施設にも取 Fin
り入れられ始め 献するとしています。Fin
ています。 Techを始めとする
国内有数の物 X-Techが広がる
流不動産「ペロ ティをつくり、地域
ッパ」である日 に向けた施設とする
本GLPでは、 のことでブランディ
クリエイティブ グの範囲を広げる取
ディレクターの り組みとについてい
佐藤可士和氏が でしょう。

第44回「アート・デザインのチカラ」

GLPだけではあ りません。ここ数年
りません。ここ数年 取る感性。なんと斬新
なことでしょうか。
テクノロジーとアー
ト・デザインは、車の
両輪です。今後さらに
社会を豊かにする大き
な力を持つと思いま
す。